教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

令和５年４月２８日
第５４１号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

オタマジャクシの誕生会

先日、年長さくら組、年少ちゅうりっぷ組が一緒に４月の誕生会を行いました。あいにく今年度は４月生まれの子どもがいなかったため、さくら組が考えて、園庭の小さな池で生まれたオタマジャクシの誕生会を行うことにしました。新年度が始まった頃、園庭の池でオタマジャクシが孵り、子どもたちは毎日楽しみに池をのぞき込んでは、気付いたことを話したり、いろいろな容器で試しながらすくってみたりして、思い思いにじっくりと関わってきました。子どもたちにとってはオタマジャクシがとても身近なものになっているため、誕生会でお祝いしたいと考えたことも頷けます。

毎月の誕生会では、誕生児一人一人にスポットを当てて紹介するために、好きなものなどを尋ねるインタビューの時間があります。今回は、オタマジャクシへのインタビューの時間がありました。教師が質問したことに対して、オタマジャクシのことをよく知っているさくら組の子どもたちが代わりに答える、というものです。「お誕生日はいつですか？」「４月です」・「どこで生まれましたか？」「滑り台の近くの池です」・「好きな食べ物はなんですか？」「いろいろな葉っぱです」・「大きくなったら何になりますか？」「カエルです」と、オタマジャクシ博士の子どもたちは、自分の知っていることを誇らしげに答えていきます。そのような中、好きな食べ物はという質問に対して、インタビューの様子を目を輝かせて聞いていたちゅうりっぷ組の子どもからも思わず「チューリップの葉っぱだ！」という声があがりました。４月に入園したばかりのちゅうりっぷ組の子どもたちも、オタマジャクシに興味津々で、チューリップの葉を浮かべると、オタマジャクシがたくさん集まってきて葉を食べることを知っています。チューリップの葉でオタマジャクシを釣ろうとする子も現れるほどです。すると、さくら組の子どもは「チューリップの葉っぱも食べるけれど、ミカンの葉っぱや他にもいろいろな草を食べるよ」と言いました。この子はオタマジャクシを毎日すくってはいろいろなことに気付いており、「うまくすくうコツ」を自分で見付けて友達に教えてもいます。興味をもって関わり、気付いたり、考えたり、試したりする中で、実際の体験からオタマジャクシは様々なものを食べるということも知っていました。もちろんその背後には、一人一人の興味関心や心の動きを捉えて、受け止め寄り添いながら、子どもの好奇心や探究心を支えている教師の援助があります。

幼児期は、自分から興味をもって関わったことからいろいろなことを学び、知識を自分のものにしていきます。子どもが思わず関わっていきたくなるような環境を柔軟につくり、一人一人の心の動きに丁寧に寄り添いながら、子どもたちの学びを支えてまいります。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞
・安心できる場や気に入った物に自分からかかわって遊ぶことを楽しむ。
・先生や友達と一緒に動いたり遊んだりすることを楽しいと感じ、自分なりの動きを表していく。

＜さくら組＞
・好きな遊びを楽しみ、思いや考えを自分なりの言葉で表そうとする。
・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、ルールのある遊びをしたりすることを楽しむ。